

急ピッチで進んでいるヘリパッドの工事

沖縄県東村高江では、多くの希少動植物が生息する自然豊かな緑の森を崩して、アメリカ軍のオスプレイの訓練場であるヘリパッド着陸帯が6カ所つくられようとしています。すでに2か所は完成し、現在N1という地区でメガネのようなヘリパッドを作る2か所の工事が急ピッチで行われています。

私は11月終わりに現地を訪ね、安保破棄実行委員会の皆さんと訓練基地建設反対行動に参加しました。

私は、二日間高江のテント村を訪ねました。一日目は、雨の日曜日でしたので、工事は行われていませんでしたが、テント前で集会を開き、テントの中で座り込んでいる方々に津市の工場でケーンソンを作るなど反対行動をしている」と、スピーチして激励しました。次の日、早朝、名護のホテルを出発し、高江へ向かいました。前日の雨はようやくやみ、N1テントに到着。N1テント前の側道に板が何重にも置かれ、私たちもその板に座りました。

既に、座り込んでいる方々がおられました。全員で250人になったそうです。

激励のスピーチ次々

私は、高江の住民は150人だそうですが、津市出身の若いご夫婦も家族でお住まいです。お母さんから激励を受けて参加しました。」と発言しました。伊佐さん 共産党村会議員が「最近お子さんが生まれて5人になりましたよ」と話しかけてくれました。座っていると足やお尻が痛くなりとても疲れます。若い女性が参加者にストレッチを教えてくださいました。

歌も歌いました。地元の方で踊りの上手な方がリードしてくれました。

激励のスピーチが次々と行われましたが、中にはなぜ安倍内閣の支持率が高いのだ」と嘆く方もおられました。しかし、希望は失ってはいかん」と、発言する人がいっぱいいました。物見遊山で来てもらっては迷惑だ」などと発言する人がいて、反論が飛び出ることもありました。実際に様々な立場の方が建設反対に座り込んでいることがわかりました。私たちが座り込んでいた間は、資材搬入はおこなわれませんが、パトカーに先導されたダンプカーの1団に会いまして。案の上、午後から資材の搬入が行われたようです。

座り込みの何人かはごぼうぬきで退去させられたと、翌日の新聞は伝えていました。

安倍内閣の理不尽ぶりに怒り

私は、沖縄訪問を通じて、安保破棄運動の方々や沖縄統一連のみさんの基地を無くして県民の生活を守ろうとする強い意志を学びました。翁長知事をはじめ沖縄県の人たちは、辺野古新基地反対。基地の縮小を」と願い、選挙の結果にも示されました。しかし、民意を踏みにじってアメリカ軍の基地を日本の税金で強引に建設する安倍内閣の理不尽ぶりには、あらためて怒りを覚えます。

日本の国土が基地として使われ、様々な問題が生まれています。根本的な解決には、話し合いによる平和の路線を大きくし安保条約を無くしていくしかありません。中国や、北朝鮮の脅威を軍事力で封じるのではなく、北東アジア平和協力構想」を大きく広げていかなければならないと強く心に誓った沖縄訪問でした。

辺野古では、座り込みを始めて、4606日もの粘り強い命を守るたたかいが続いています。



辺野古新基地建設は 工事休止中

辺野古も訪問しました。裁判中のため、建設は止まっています。辺野古の現基地には弾薬庫もあり、新基地に港を作り、今後200年間使用できるように強化されます。今、辺野古の埋め立てが止まっている間に高江のヘリパッド基地を完成させようと急いでいるのだという説明を聞きました。



(写真) いのちの森 高江より

豊かな自然 人々の生活守れ

美恵子 岡野 沖繩行動

北部訓練場の返還と言うけれど

アメリカは、使わなくなった、北部訓練場の約半分を日本に返す事、1996年(SACO合意)を口実に、残りの半分の敷地にヘリパッドを建設しています。そのすぐそばには、民家があり、人々が生活しています。

安倍首相は、反対の民意は聞かず、参院選翌日の7月11日、全国から50人の機動隊を送り込んで、ヘリパッド建設工事を強行しました。12月22日には、訓練場返還式典も決まっています。